



消防操法の一連の動きは、指揮者の敬礼、小玉多智美町消防団長が開会を宣言から始まります。



各種操作の安全・確実性に加え、迅速な行動、動作などが審査の対象となり、チームワークも要求されます。



第3位の第8・9分団。前身の第9分団が平成16年に3位になって以来、18年ぶりの入賞です。



準優勝の第5分団からは、1番員の草皆拓弥さんと指揮者の石井秀行さんが優秀選手に選出されました。



優勝の第10・11分団からは、3番員の畑澤幸二さん(写真右端)、2番員の伊藤守さん(写真右から2番目)が優秀選手賞表彰を受賞。



3番員は水槽から水をくみ取りポンプで送水し、2番員はロープをポンプに結び火点の警戒にあたります。



町消防訓練大会・小型ポンプ操法の部

第10・11分団が連覇

6月26日、「令和4年度町消防訓練大会」を行いました。大会には「小型ポンプ操法の部」に7つの分団が出場し、審査の結果、第10・11分団が前回大会(令和元年6月30日実施)に引き続き優勝し、2連覇を飾りました。

小型ポンプ操法の部で優勝した第10・11分団。7月31日の「男鹿潟上南秋支部消防操法大会」に町を代表して出場しました。

7つの分団が出場し 訓練の成果を競い合う

6月26日、町消防本部で「令和4年度町消防訓練大会」を行いました。本大会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度、令和3年度の大会を中止したため、本年が3年ぶりの開催となりました。大会当日は、日程を短縮するなど、感染対策を徹底して競技を進行。火災現場での消火を想定した「小型ポンプ操法の部」に7つの分団が出場し、日ごろ訓練してきた小型ポンプ操法の技術や、放水までの迅速性を競い合いました。審査の結果、前回大会(令和元年6月30日実施)に引き続き、第10・11分団が優勝し、大会2連覇を飾りました。優勝した第10・11分団は、7月31日に町消防本部で開催された「男鹿潟上南秋支部消防操法大会」に町を代表して出場しました。

◆大会結果(敬称略)

- 小型ポンプ操法の部
 - ・ 優勝 第10・11分団
 - ・ 準優勝 第5分団
 - ・ 第3位 第8・9分団
- 優秀選手賞表彰
 - ・ 指揮者 石井 秀行(第5分団)
 - ・ 1番員 草皆 拓弥(第5分団)
 - ・ 2番員 伊藤 守(第10・11分団)
 - ・ 3番員 畑澤 幸二(第10・11分団)

◆町消防団各分団・管轄区域一覧

分団名	担当区域	分団名	担当区域
団本部・女性部	本町全域	第7分団	恋地～北ノ又
第1分団	本町北部	第8・9分団(1部)	下山内～台
第2・3分団(1部)	本町南部	第8・9分団(2部)	乙市～川堤
第2・3分団(2部)	本町東部	第10・11分団(1部)	浅見内、黒土
第4分団	本町西部	第10・11分団(2部)	湯ノ又、小倉
第5分団	帝釈寺～蓬内台	第12・13分団(1部)	大川、下樋口
第6分団	寺庭～水沢	第12・13分団(2部)	石崎、西野、谷地中